



平成 29 年度総会資料



と き 平成 29 年 6 月 23 日 (金) 13 時 00 分

ところ 松阪農業公園ベルファーム

レクチャールーム

(松阪市伊勢寺町 551-3)

三重の畜産女性の会 サン・カラット

所在地 津市桜橋 1 丁目 649 番地 農業共済会館

事務局 一般社団法人 三重県畜産協会

電話 059-213-7512 FAX 059-221-0109

E-Mail info@mie.lin.gr.jp

平成 28 年度事業報告

世界中で猛威を振るう鶏インフルエンザが 1 年 10 か月ぶりに日本国内でも発生しました。関係者の迅速な対応により感染の拡大は抑えられましたが、予断を許さない状況が続きました。また、TPP（環太平洋経済連携協定）大筋合意というニュースから一転、米大統領にドナルド・トランプ氏が就任し、TPP からの離脱を表明するなど益々先行きが見えない状況となりました。

さて、サン・カラットは28年度に10周年の節目を迎えました。特別な行事はできませんでしたが、畜産協会の「三重の畜産女性活躍促進事業」へ協力し、福井県へのバス研修旅行や女性活躍促進フォーラムに参加、漁連さんとの交流など、新たな活動ができた1年となりました。これまでの10年間、私たちは、畜種を越えて集い、お互いに励まし合い、学びながら活動をしてきました。この1年は、先の10年につながるような活動ができたのではと思います。

1 総 会

とき：平成 28 年 6 月 22 日（水）

ところ：松阪農業公園ベルファーム（松阪市）

出席者数：総数 28 名（うち会員 18 名）

協議内容：平成 27 年度事業実績、収支決算の報告
平成 28 年度事業計画、収支予算の提案



代表世話人の小林さんから「このサン・カラットは平成 18 年に発足し、今年 10 周年を迎えます。記念すべき第 1 回の講演会に熊本県であか牛を肥育している那須眞真理子さんに講演をしていただきました。熊本県で地震があったと聞いたとき、那須さんの顔が一番に浮かびました。この 10 年間地道に活動を続けてきてそんなに大きな行事はできませんでしたが、こうやって人脈を広げられたことは大きな宝です。この三重県にも畜種を超えたつながりができ、全国にも仲間ができ、この 10 年間いろんな出会いがありました。せっかくながりのできたこの会の行事に足を運んでいただけたらと思います。」と挨拶がありました。

来賓として出席いただいた県畜産課佐藤技師から斉藤課長の代理として、「サミットでは農業農村の活性化を支える女性の活躍推進が宣言されています。女性の活躍推進を進めるために、サン・カラットの皆さんにご協力をお願いします。」との挨拶をいただきました。

2 研修会・交流会等の開催・参加

1) サン・カラット研修会（総会と同日開催）

※この研修会は、三重の畜産女性活躍促進事業との共催により開催されました。



福井県小浜市役所企画部食のまちづくり課の中田典子先生をお招きし、先生が勤務する食のまちづくりの中心となる施設「御食国（みけつくに）若狭おばま食文化館」の取組についてご講演いただきました。

2) 福井県へ研修旅行

とき：平成 28 年 9 月 2 日（金）

ところ：御食国（みけつくに）若狭おばま食文化館（福井県小浜市）

ささえたまご農園（福井県敦賀市）

参加者数：19 名（うちサン・カラット会員 11 名）

※この研修会は、三重の畜産女性活躍促進事業との共催により開催されました。

総会時の研修会で講師として来ていただいた中田先生の努める施設「御食国若狭おばま食文化館」、6 次産業化を手掛けるささえ農園へ視察に行きました。また、漁連女性部さんにも参加していただき、バス車内で意見交換会を行い、漁業に従事する女性との交流をしました。



3) 三重の畜産女性活躍促進フォーラム

とき：平成 28 年 11 月 1 日（火）

ところ：アスト津 アストホール（津市）

三重県と畜産協会により開催された「三重の畜産女性活躍促進フォーラム」に参加しました。畜産女性の働く環境や、活躍する場について考えるフォーラムで、県内で初めての開催であったため、企画会議への参加や当日の受付など、サン・カラットも運営に協力しました。基調講演には、熊本県的那須眞理子さんをお招きし、女性が目立つと叩かれてしまうような地域・時代から男女共同参画を目指して活動されてきた



お話や、最後には高校生へ向けてのメッセージなど、活力溢れるご講演をいただきました。優良事例発表では、サン・カラットの松葉さん他 2 名から、六次産業化への取組みや女性の働きやすい環境づくりなどについて発表がありました。また、パネルディスカッションでは、高校生・大学生から畜産女性へ質問をする、という形式で行われました。

4) 漁連女性部との交流会

とき：平成 28 年 11 月 12 日（土）

ところ：渡邊牧場、椿会館（鈴鹿市）

参加者数：38 名（うちサン・カラット会員 11 名）

※この交流会は、三重県畜産協会の新たな地域リーダー育成のための女子力発揮事業との共催により開催されました。



みえ漁連女性部さんとの交流会として、鈴鹿市の渡邊牧場さんで酪農教育ファームの見学後、椿会館で意見交換会を行いました。渡邊牧場では、渡邊節子さんのご長男友裕さんに牧場のご案内をしていただきました。椿会館では、6～7人のグループに分かれ、漁業に携わる女性の皆さんと意見交換会を行いました。また、友裕さんにも来ていただき、先ほどの牧場見学では聞けなかった質問にお答えいただきました。



5) 第29回農山漁村のつどい

とき：平成29年2月8日（水）

ところ：三重県総合文化センター（津市）

開催テーマを「農山漁村ファースト！！～若者の感性を生かして、世代を超えた地域活性化を進めよう～」として開催されました。

「若い感性の発信」をテーマに事例発表があり、若手農業者から発表がありました。



講演会では、岸川政之さんから「～高校生レストランの仕掛け人が語る～『幸せな地域の育て方』」について講演があり、いかに「感動」したかを基準に活動されていることについて紹介がありました。

恒例となっている自慢の生産物販売では、サン・カラットを代表して津市久居の大西畜産の「頑固おやじのぶた」を販売しました。

6) みえ漁連女性部との料理交流会・研修会

とき：平成29年2月18日（土）

ところ：鈴鹿市農村環境改善センター（鈴鹿市）

出席者数：30名（うちサン・カラット会員10名）

※この交流会は、三重の畜産女性活躍促進事業、三重県畜産協会の新たな地域リーダー育成のための女子力発揮事業等との共催により開催されました。



この料理教室は、「先生」はおらず、それぞれ畜産物と海産物を持ち寄り、参加者同士交流しながら料理をしました。午後は、(株)スタジオプルミエの松原伸一郎先生による「写真講習会」、南勢家畜保健衛生所黒石菜乃花技師による「『おいしさ』ってなに？」の研修会を開催しました。



3 会員間の情報交換、活動内容の広報等

1) 会員誌の発行

①サン・カラット通信第 27 号（平成 28 年 12 月発行）

- ・総会・研修会を開催
- ・全国畜産縦断いきいきネットワーク大会に参加
- ・福井県へ研修旅行
- ・三重の畜産女性活躍促進フォーラム開催
- ・漁連女性部との交流会～渡邊牧場を見学～

②サン・カラット通信第 28 号（平成 29 年 3 月発行）

- ・全国畜産縦断いきいきネットワーク
- ・第 29 回農山漁村のつどいに参加
- ・三重県漁協女性部連合会との料理交流会



2) ホームページからの情報発信

三重県畜産協会のホームページ「三重の畜産広場」内のサン・カラットのサイトでは、会の紹介、会員募集、活動状況等を広報しました。

サン・カラット URL <http://mie.lin.gr.jp/san/index.htm>



4 会の運営等の活動・その他

1) 世話人会の開催

とき：平成 28 年 5 月 17 日（火）

ところ：三重県教育文化会館

出席者：サン・カラット世話人 2 名、会員 1 名、県畜産課 2 名、畜産協会 2 名

協議内容：平成 27 年度実績、平成 28 年度活動計画等

※この会議は、三重県畜産協会の畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催しました。



2) 全国畜産縦断いきいきネットワーク全国大会、農水省との意見交換会

とき：平成 28 年 9 月 20 日（火）、21 日（水）

ところ：中野サンプラザ（東京都中野区）、農林水産省（霞が関）

第 12 回の大会テーマは「案ずるより産むが易し 私たちの継承！」の下に開催され、サン・カラットからは 7 名が参加しました。「畜産の経営継承における税務と取り組みのポイント」について、森税務会計事務所の森剛一さんから講演がありました。講演会に続く事例発表では、経営継承の取り組みについて 4 名から発表があり、サン・カラットの松葉さんも発表をしました。

翌日は、農林水産省の職員の皆さんと畜産を取り巻く課題についての意見交換会に参加しました。

5 平成 28 年度収支報告

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 28 年度収支計算書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
会費	160,000	157,000	3,000	5,000 円×31 名、1,000 円×2 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	30,000	0	30,000	
雑収入	50	7	43	預金利息 7 円
当期収入合計 (A)	195,050	157,007	33,043	
前期繰越収支差額	318,649	318,649	0	
収入合計 (B)	508,699	475,656	33,043	

2) 支出の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	134,360	67,079	67,281	表外※1 参照
会議費	600	0	600	
会場費	4,000	0	4,000	
旅費交通費	10,000	0	10,000	
通信運搬費	14,440	5,956	8,484	振込手数料 756 円、切手代 5,200 円
消耗品費	6,000	6,000	0	事務消耗品費 6,000 円
印刷製本費	8,000	8,000	0	コピー代金 2,000 枚
賃金	50,470	49,000	1,470	事務局 7 日分
事務諸経費	2,400	0	2,400	
雑費	5,000	0	5,000	
当期支出合計 (C)	235,270	136,035	99,235	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 45,220	20,972	△ 66,192	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	273,429	339,621	△ 66,192	



※1 特別事業費 (67,079 円) の内訳

会議費 63,600 円 総会昼食 32,400 円、総会お茶代 4,000 円、
研修会昼食代 19,500 円、研修会お茶代 3,500 円、
農山漁村のつどい 4,200 円

研修会費 2,400 円

料理教室 1,079 円

※参照：畜産協会事業「畜産関係団体調整機能強化事業」からの支援

世話人会開催費用 31,239 円 旅費、会場費等

研修会・勉強会開催費用 34,502 円 会議費、材料費、通信運搬費等

その他費用 47,595 円 通信運搬費、消耗品費等

三重の畜産女性の会サン・カラット規約第 14 条により上記のとおりご報告します。

平成 29 年度事業計画（案）

高病原性鳥インフルエンザの発生、肉用牛のもと畜費の高騰など、畜産経営においては厳しい状況が続いていると感じています。畜産経営の周辺を見渡せば、このような環境になっていますが、グローバルな視野に立てば、米国のTPP交渉からの離脱や恒常的に発生している家畜疾病も気がかりな課題です。

私たちは、このような状況の中でも、苦境にも負けることなく経営の維持発展に臨んできました。女性の視点で、経営に参加し家族と共に考え行動してきました。

サン・カラットは、平成 18 年の発足から 11 年目を迎えます。昨年度の活動を通して、異業種との交流や農業高校との繋がりができました。今年度は農業高校への訪問という、新たな活動を計画しております。高校生の若い力から、私たちも何か得えられるものがあると思います。

これまで共に歩んできた年月を誇りに思い、さらに魅力ある仲間であり続けるために励まし合い、喜び合える絆を育てていきたいと思っています。

1 研修、会員相互の交流等の活動

毎日、畜産現場で活躍しているのに「今更、研修？」と思われるかもしれませんが、現場経験のある人は、自分の体験と照らし合わせて学ぶことができるのではないのでしょうか。こういった場面で出会う研修は、モヤッとした悩みを解決してくれたり、自信をつけてくれるものになります。

求めるテーマで研修会が開催されることは少ないかもしれませんが、せっかく目の前に止まったバスがあれば、乗り込んでみましょう。新しい発見もあるはずです。

1) 総会

とき：平成 29 年 6 月 23 日（金）

ところ：松阪農業公園ベルファーム

平成 28 年度事業実績の報告、平成 29 年度事業計画の提案



2) 男女共同参画フォーラム

とき：平成 29 年 11 月 11 日（土）

ところ：三重県総合文化会館

（昨年までの「農山漁村のつどい」をリニューアルし、男女共同参画センターと共同で開催予定とのことです。）



3) 交流会（料理講習会）

内容：他の業界で活動する女性グループとの料理交流

4) 農業高校訪問

内容：農業高校を訪問し、畜産・農業を学ぶ高校生と交流し、畜産業の魅力を伝える。
新しい取組みのため、会議を開催して会員の皆さんの意見を聞きながら進めて
いきたいと思っています。

5) バス研修旅行

内容：異業種の一次産業現場の見学

6) 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会、農水省との意見交換会

とき：平成 29 年 8 月 22 日（火）、23 日（水）

ところ：中野サンプラザ（東京都中野区）、農林水産省（霞が関）

2 情報発信・情報交換による交流

サン・カラット活動の中で、会員同士が直接顔を合わせる機会といえ、年に何度か開催するイベントなど回数も限られます。また、都合によりなかなか参加いただけない場合も散見されます。

一方、自分たちの活動を会員以外の皆さんに知ってもらうためにも情報の発信をしています。

1) 会員誌の発行

掲載内容の主な部分は、活動状況の報告となっていますが、参加いただいた会員の感想なども掲載するようにしています。

楽しそうな話題を耳にすれば、寄稿もお願いしています。ふだん文章を書く機会がそれほど多くないかもしれませんが、事務局から寄稿の依頼があれば一念発起してご協力をお願いします。

会員の皆さんからの寄稿が会員誌を豊かな内容にしてくれると思います。

「あなた」をお願いしますヨ。

2) ホームページによる情報発信

活動状況を中心に掲載する関係上、会員誌の内容と重複しますが、ホームページ「三重の畜産広場」の一角から情報発信をします。

3) その他の情報提供

皆さんの周りで起きたニュースやイベント開催予定などをお知らせ下さい。

他のグループ、趣味の会などの活動に参加されている場合も、「見に来てください」「集まってください」といった情報を提供して下さい。

サン・カラット以外で活躍する姿を教えてください。

3 畜産物の消費拡大へ向けての活動

飼料費を始め生産資材の高騰は生産コストを上げ経営収支を厳しいものしています。



こういった状況に立ち向かうために、女性の視点から消費者へアプローチしてみようではありませんか。食べ物に興味をもったり関わったりすることが多い女性ならではの情報発信や活動を展開していきましょう。

4 その他会の運営に必要な活動

サン・カラットの運営については、少しでも有意義な活動が展開できるように世話人会で検討協議していますが、ぜひ皆様のご意見をお聞かせ下さい。



また、行動の範囲を広げるためにも、全国組織の「全国畜産縦断いきいきネットワーク」にも目を向けてみて下さい。



三重の畜産女性の会

サン・カラットへのお誘い

三重の畜産に携わる人、興味のある人、畜種を越えて集いましょう。
一人ひとり小さな力でも、
仲間がたくさん集まれば、それはひとつの大きな力になるでしょう。
なにか、新しい芽を皆で育ててみませんか。

- 1 会員相互の交流を深めましょう。情報の交換も積極的に！
- 2 経営向上のために研修の機会をもちましょう。
- 3 消費者の皆さんに畜産や畜産物についての理解を深めてもらいましょう。
- 4 将来の経営のためにいろいろな課題について語り合いましょう。
- 5 会員の意見による活動を進めましょう

・・・他にも取り組みたい活動イロイロ！

皆でまず一歩！これがスタートです。

5 平成 29 年度収支予算

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 29 年度収支予算（案）

（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

1) 収入の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
会費	165,000	160,000	5,000	会費 5,000 円×33 名
寄付金			0	
特別事業費	30,000	30,000	0	参加費 1,000 円×20 人×1 回 材料費負担 500 円×20 人×1 回
雑収入	50	50	0	預金利息
当期収入合計(A)	195,050	190,050	5,000	
前期繰越収支差額	333,649	318,649	20,972	
収入合計(B)	534,671	508,699	25,972	

*サン・カラット会員の年会費は 5,000 円とする。納入は 7 月末日までをお願いします。

振込先 銀行名 三重県信用農業協同組合連合会本店

口座名義 三重の畜産女性の会

口座種別 普通預金 口座番号 0003584

2) 支出の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	144,000	134,360	9,640	表下※1 参照
会議費	600	600	0	100 円×6 人×1 回
会場費	4,000	4,000	0	世話人会
旅費交通費	10,000	10,000	0	事務局延べ 4 人
通信運搬費	14,860	14,440	420	会報等郵送料、振込手数料
消耗品費	6,000	6,000	0	500 円×12 ヶ月
印刷製本費	8,000	8,000	0	コピー利用料
賃金	49,000	50,470	△1,470	7,000 円×7 日
事務諸経費	2,400	2,400	0	200 円×12 ヶ月
雑費	5,000	5,000	0	その他雑費 5,000 円
当期支出合計(C)	243,860	235,270	8,590	
当期収支差額 (A)-(C)	△48,810	△45,220	△3,590	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	290,811	273,429	17,382	



※1 参照（特別事業費）

会議費	56,000	2,000 円×20 人×1 回 1,500 円×20 人×1 回 100 円×40 人×1 回	旅費	10,000	研修会講師
会場費	10,000	総会、研修会	謝金	18,000	研修会講師
			材料費	20,000	20,000 円×1 回(食材)

三重の畜産女性の会 サン・カラット

事務局 一般社団法人 三重県畜産協会

電話 059-213-7512

FAX 059-221-0109

E-Mail info@mie.lin.gr.jp

津市桜橋 1 丁目 649 番地 農業共済会館